



## 龍美パークゴルフ与論

Location/Yoron Island Photo/Josuke Satoh (STUDIO COMME・CA)



# Tatsumi Parkgolf Yoron



エメラルド色に輝くホテルのビーチ。時間とともに海の色が変わり、見飽きることがない

## ヨロンプリシアカップ 2年ぶりの復活。 憧れのシーサイドコースが待っている。

与論島にパークゴルフ場が誕生したのを契機に、  
同ホテル支配人を中心に3年間大会が開催された。

飛行機を乗り継ぎ、時には船を利用し、  
本当に大勢のパークゴルフ愛好者が同島を訪問した。  
その数、のべ1000人を超えたというから人気ぶりがうかがえる。



本物のシーサイドコース「龍美パーク

ゴルフ与論」の魅力は多くのファンの支  
持を得ていたが、残念ながらホテルの事  
情で大会は一旦休止。過去3回の大会も  
大きく評判になっていただけに残念な  
ニュースだった。

それから2年が経過し、新しい支配人  
の下、大会を復活させる動きが出たの  
は昨年の冬。過去に築いた流れを継承  
していくことになり、昨年の早  
い段階から準備を進めていた。  
しかし一旦休んでしまった大会を復活  
させるには、大きなエネルギーが必要だっ  
た。大会が休止している間、九州、沖縄各  
地にパークゴルフ場が増え、ツアーバリ  
エーションも格段に増えた。

さらに最近では団体、  
個人それぞれが滞在日  
数を頭に入れながら旅を  
選び、組み立てる傾向が  
あり、再度新規のイベント  
を立ち上げるのは、日程  
調整が難しくなっている。  
今回の復活大会に参  
加した北海道の愛好者  
は残念ながら15人。今回  
は沖縄本島を経由し、船  
で与論島に向かった。本  
部港を出港して2時間半、  
船はゆっくりと岸壁に着  
いた。中野支配人が大き  
く手を振っている。「さあ

上陸だ…」。久しぶりの与論への期待が、  
予想以上のものとなっていく。

大会は当日の運営から表彰式まで、  
前回を上回るほど和やかで楽しいもの  
となつた。ホテルで行われた交流、ハイタ  
イムには全国区の人気を誇る「かりゆしバ  
ンド」もゲスト出演。与論の「島歌」の登  
場に全員立ち上がりたのはいうまでもな  
い。みなさん本当にいい表情で踊っている。  
大勢のホテルスタッフ、地元大会関係  
者、パークゴルフ協会、同行したカメラマン、  
それぞれが顔を見合わせ「復活したね」  
とのサインを送り合つた瞬間である。こ  
のイベントが与論の魅力を広く知らせ



▲参加者勢揃い。スタート前にハイチーズ



▲かりゆしバンド登場。一気に盛り上りましたねえ～



大勢待つってくれたことが何よりの喜びだった。  
帰りの船に乗船する参加者の表情には大きな満足感が表れていた。「ありがとうございます」と声を交わし、デッキからテープが投げられ、スタッフがそれを握る。感動的なラストシーンとともに「第4回ヨロン・プリシアカップ」は無事終了となつた。

▲与論島のシンボルを背にプレーが進む



▲始球式は私が務めさせていただきました(安定したフォームでしょ?)



▲プレー中はみな穏やかな笑顔。和やかな雰囲気で交流を満喫しました



▲元気ハツラツの中野支配人が盛り上げてくれました。感謝!

クゴルフの普及ぶりにも感心させられた。島の愛好者が順調に増え、月例会を実施していること、沖縄県の国頭村との交流や、九州各地域の人たちともパーク交流を促進していること。そして今回の大会には地元から40人の愛好者が参加。さとうきびの収穫時期と重なっていたにも関わらずだ。今回復活を楽しみにしていてくれた人々が

大勢待つてくれたことが何よりの喜びだった。



るきっかけにもなつてもらいたいと願う。プリシアリゾートヨロンが今後推進していくであろう「与論暮らし」と連携し「小さな島で大きな実り」が得られるようサポートしたいものだ。  
また、今大会を通して与論でのパ